

第3期広島市立大学塾活動報告【10月30日】

国際学部2年

神津 圭佑

今回は、前回の「認定 NPO 法人ひゅーるぽん」代表の川口さんのお話を聞いたうえでディスカッションを行った。

議論は川口さんのお話の中で最も印象的に残った、あるいは考えさせられた箇所はどこか、そしてそれはなぜか。自分の生き方と社会的責任について、現時点で考えることについての2点を中心に進んでいった。

最も印象に残った点で、40代で学校の教師を辞めた覚悟と人に信頼感を抱かせる人柄が拳がった。子供のような感受性をもっていることと、NPOという組織を0から作り上げた強い芯があることは周りの人が彼を応援したくなる理由だと思う。

自分の生き方と社会的責任についての話は難しいけれども非常に考えさせられた。というのもこのようなテーマは日常的に考えるテーマではないのと同時に答えはないからだ。先生たちの人生の話聞く中でもそれぞれの選んできた道、思いがあった。成り行きで今の立場があるとの話を聞いたが、私は芯があったうえで今の立場、人生があると思う。こういう分野でやりたいと思うと、いずれそのことができているというのは根底にある思いが変わらないからだろう。

今回は川口さんから学んだことと自分の生き方、社会的責任まで深く考えることができた。最後に今回一番印象に残ったことを紹介したい。今の幸せをとるか、未来の幸せをとるかというのはあまり重要ではない。幸せの価値観は心のもちようだから。川口さんのように目の前のことに真剣に取り組み、そして社会的責任を果たしていきたい。